

## 国民健康保険税の値上げ中止を求める請願書

### 1. 請願の要旨

国民健康保険税の値上げを行わないこと及び、低所得者への保険税軽減措置の拡充を求める。

### 2. 請願の理由

泉南市は12月議会に総額約1億円の負担増、国保加入者の6割が値上げになる条例案を提出します。2014年度から4年連続値上げになります。

具体的には世帯所得300万円の夫婦と子ども2人の4人世帯の場合、現行の保険税53万8700円が60万1000円となり、年間6万2300円もの値上げになります。同所帯が389万円を超えると賦課限度額（国民健康保険加入者の保険料負担の上限額）73万円になります。

賦課限度額は2014年度から3年連続で3万円ずつ合計9万円、58万円から67万円に値上げされました。さらに来年度から6万円を引き上げ73万円に値上げします。

泉南市は大阪府下で市民の所得が最も低いにも関わらず、4年ごとに行革と称して公共料金が値上げされ、生活を圧迫しています。そのため、市民病院のない泉南市では、高すぎて払えない国民健康保険税の引き下げは切実な市民の願いです。ところが、国保の広域化に備え、泉南市は今後も賦課限度額を国基準の89万円にまで引き上げる計画です。

市民のくらしが深刻さを増すなか、国民健康保険税は値上げするのではなく、積立金などを活用して一般会計からの繰り入れを増やすこと、市として国に対し減額されてきた国庫負担金の増額を求めることが必要です。市民が安心して医療を受けることができるよう、国民健康保険税の値上げを行わないこと、低所得者への保険税の軽減措置を拡充することを要望します。

**採決結果**  
**平成28年12月20日 不採択**